

たぐすい

TAKUSUI
No. 752

6

June.2019

発行 (一財)兵庫県水産振興基金

兵庫の漁業人のための情報誌



鉢伏山別宮の棚田 (養父市)

各団体 総会

ITベンチャー企業講演会 JF室津・なぎさ信漁連

《今月の海上安全標語》～ 季節に合わせた衣替え ～

ライフジャケットは、涼しいものから、暖かいものまでいろいろあります。
季節に合わせて変えてみてはいかがでしょうか！

衣替え 季節に合わせた ライフジャケット では、今月も安全操業で！

ようそろ

「ずっとと真つ直ぐに」

(ようそろとは航海用語で「宜しく候」の意。
主に船を直進させるときの方令として使われる)

光陰矢の如し

兵庫県漁業協同組合連合会 参事 田中 健二



県漁連に勤めて30有余年、定年までの年数が圧倒的に短くなってきました。指導部を皮切りに、石油、組織強化、総務、経理と経験しましたが、本所から異動することなく、ここまで来ました。入会した当時は66JFと地区漁連が1つ。それが今では37JFです。時代の流れだと思っています。入会時から「漁業を取り巻く環境は大変厳しく」と言われていますが、当時は兵庫県の水揚げが一番多かった時期。自然相手の産業のため、改善はなかなか進まず、30年掛かっても厳しい状況が続いています。

仕事においても私生活においても、昔の事など昨日のことに思えるのに、記憶はあいまいになり、思い出せないことが多々あります。若い職員と話していても、最近の事柄は知っていてもそれ以前のことには知っておらず、何か重要なことを伝えられていないのではないかと不安になります。我々の年代の職員にしても、更に遡ってのことは知っておらず、この業界の歴史を代々引き継いでいくことは、重要な仕事だと思っています。

月日の経つのは早く、過去も未来もあつという間に過ぎ去り、また、来てしまいません。妻からは「定年後どう過ごすの？趣味はあるの？」と言われ、改めて今の自分の無趣味に気付かされて愕然となります。昔の様には体は動きませんが、久しぶりに山に登ろうか、また、学生時代から乗り続けているバイクでツーリングに行こうか。考えているだけで時間は過ぎ、それこそ時間だけがあつという間に過ぎていきます。何事も行動が伴わなければ。

高齢化社会を迎え、健康に過ごすための秘訣は「きょういく、きょうよう」と言われます。「教育」と「教養」ではなく、

「今日、行くところ」「今日の用事」

将来に向け、今から備えたいと思います。



CONTENTS

No.752 June. 2019

- 2 ようそろ
- 3 摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会 通常総会
淡路地区漁協青壮年部連合会 通常総会
- 4 淡路地区漁協女性部連合会通常総会・研修会
一般社団法人 淡路水交会 通常総会
- 5 淡路漁協職員協議会 通常総会
漁港漁場事業研修会 開催
- 6 未来の漁業技術を創るITベンチャー企業 講演会
- 7 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター 研究発表会
JF兵庫漁連HP 会員/職員専用ページ統合について
- 8 神戸海上保安部からのお知らせ
- 9 兵庫 JCC 通信
- 10 旬に想う
大輪田塾 第15期生 募集



表紙の言葉

「鉢伏山別宮(べっぐう)の棚田」(養父市)

(画像提供 JF兵庫漁連 津田 英幸氏)

鉢伏山の中腹に広がる別宮(べっぐう)の棚田は、標高700mに位置し兵庫の屋根である氷ノ山を正面に望む景勝地です。

田植え前の田んぼに鏡のように映る「逆さ氷ノ山」は壮観です。

豊かな海の基となる田や森林も守り育ててもらいたいのです。

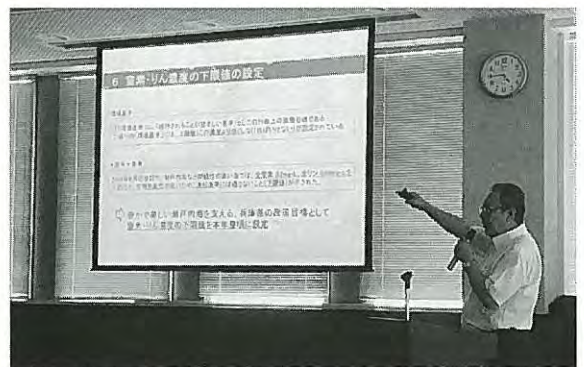
2019年度

摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会 通常総会



5月18日(土)、兵庫県水産会館において、摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会(13会員・部員計236名)は2019年度通常総会を開催しました。冒頭、大西正起会長(JF伊保)は「昨年度も消費流通検討会として大學生に対し漁場見学などの体験学習等の活動を行ってきました。本年度も引き続き浜に若者を招き漁業を知ってもらう活動をはじめ、各協同組合間との連携や資源保護など我々青年部にしかできない活動を行っていききたいのでよろしくお願いします」と挨拶しました。総会は、平成30年度の事業報告、2019年度事業計画の他、「ガザミふやそう会」の報

告・事業計画・役員改選の議案が審議され、すべて原案通り承認されました。総会後には、「豊かな海への取り組み」と題した学習会が行われ、JF兵庫漁連 突々 淳専務より、瀬戸内海環境保全特別措置法が制定された歴史や栄養塩の推移と漁獲量の関係をはじめ、「豊かで美しい瀬戸内海」再生に向けた実施計画や取組みについて講義があり、参加者は熱心に聞き入っていました。最後に、くじ引き大会が行われ、豪華な賞品が用意されるなか、大いに盛り上がりました。(文：摂津播磨地区漁業協同組合 青壮年部連合会)



5月31日(金)、洲本市内のホテルにおいて、淡路地区漁協青壮年部連合会(17会員 部員計255名)の2019年度通常総会が開催されました。山崎大輔会長(JF淡路島岩屋)の挨拶、来賓紹介に続いて、岡野門太理事(JF室津浦)を議長に議事が進められ、平成30年度事業報告、2019年度事業計画・役員改選などの議案が審議・承認されました。新年度事業計画として、栽培漁業・資源管



2019年度 淡路地区漁協青壮年部連合会 通常総会

理型漁業の推進、環境保全への取り組みなど7つの項目のうち、「淡路の魚」のブランド化を積極的に進めていくことが確認されました。

総会終了後の学習会では、神戸海上保安部航行安全課第一海務係長仲田氏より、「船舶の津波対策」と題した講演が行われ、津波発生時の大阪湾の避難海域と避難ルールや各海峡の予想津波到達時間等の話に参加者は津波防災について考える良い機会となりました。(文：淡路地区漁協青壮年部連合会)



平成31年度 淡路地区漁協女性部 連合会通常総会・研修会



5月21日(火)、淡路水産センターにて、平成31年度淡路地区漁協女性部連合会通常総会が開催されました。

9会員32名と洲本農林水産振興事務所 藤 克浩所長補佐兼水産課長、(一社) 淡路水交会 東根 壽会長、JFなぎさ信漁連 黒田 俊文理事長はじめ来賓13名の出席のもと、平成30年度事業報告及び収支決算、平成31年度事業計画及び収支予算、役員任期満了に伴い新役員が承認され滞りなく終了しました。

総会の後、淡路地区漁協青壮年部連合会副会長 相田 欽司氏(JF仮屋)を講師に迎え、「青年部がやるべきこと、島の魅力発信 将来に繋ぐ私たちの思い」と題して講演

いただきました。青年部の活動についてのご講演に対し、女性部の皆さんの関心はとても高く、熱心に受講されていました。

- (新役員のご紹介…順不同、敬称略)
 - 会長 森 武美(JF福良・再任)
 - 副会長 松帆悦子(JF淡路島岩屋・再任)、中元はるみ(JF沼島)
 - 理事 岡田なを子(JF仮屋)、森よし系(JF森)、溝尾元美(JF浅野浦)、藤本由美(JF育波浦)
 - 監事 福岡恭子(JF津名塩田)、杉田友子(JF南あわじ)
- (文…淡路地区漁協女性部連合会)



淡路地区漁青連 相田 欽司氏の講演

地産地消の推進・国・地方・漁業者の連携強化を図る ～一般社団法人 淡路水交会通常総会 開催～

一般社団法人 淡路水交会(東根 壽会長)は、6月3日(月)に、洲本市内のホテルで第9回通常総会を開き、17会員の代表者や県議会、行政機関、系統団体からの来賓出席者ら43名が出席しました。

審議に先立ち、東根会長は「地産地消の推進を通して地魚の鮮魚販売拡大に繋がるように取り組む。第二期浜の活力再生プランの取り組みを更に進め、収益性の高い操業体制に向かって安定に進めるよう水交会傘下漁協が密に連携を取りながら推進したい」と挨拶しました。

続いて、兵庫県議会 永田 秀一議員、武田雅和淡路県民局副局長、田沼政男JF兵庫漁連会長がそれぞれ来賓を代表し祝辞を述べられました。総会はJF五色町 福島組合長を議長



に選出し、平成30年度事業報告、令和元年度事業計画、役員改選などの議案が原案通り可決承認された後、社領 弘副会長(JF一宮町)の閉会の挨拶で終了しました。

(文…一般社団法人淡路水交会)

淡路漁協職員協議会 通常総会

淡路漁協職員協議会（会員数97名）の平成31年度通常総会が6月1日（土）に洲本市内のホテルにて開催され、会員と来賓約50名が出席しました。

総会は、主催者挨拶に続き、来賓の（一社）淡路水交会 東根 壽会長、兵庫県淡路県民局 本農林水産振興事務所 藤克浩課長、JF兵庫漁連 田中 稔彦 参事より祝辞がありました。続いて2名に対する職員永年勤続功労者表彰が行われた後、平成30年度の事業報告と収支決算、平成31年度の事業計画と収支予算等が審議され、上程された議案はすべて原案どおり承認されました。また、任期満了に伴う役員改選が行われ、6名の役員が選任されました。

新役員の方々は次のとおりです（敬省略）。



会長 長

浜口 一広

（JF富島）

副会長 長

田村 優行

（JF五色町）

理事 長

花野 恵

（JF由良町）

東 舞佳

（JF南あわじ）

監事 長

高嶋 秀典

（JF淡路島岩屋）

木下 みづき

（JF南淡）

（文：淡路漁協職員協議会）

平成30年度 漁港漁場事業研修会を開催

兵庫県漁港漁場協会（会長：浜上勇人・香美町長）は6月4日（火）、県水産課及び漁港課と共催で神戸市内の兵庫県土地改良会館において、県及び協会会員（市町、漁業協同組合等）36名の参加による平成30年度 漁港漁場事業研修会を開催しました。

研修会は、主催者を代表して山下 正晶 水産課資源増殖室長の挨拶に続いて講義が行われ、出席者は熱心に聴講し、活発な意見交換などもありました。

今年度は、水産庁漁港漁場整備部整備課から井上 真仁 性能規定係長をお迎えし、詳細かつ内容の濃い講演と、さらに、漁港施設の有効活用に取り組んでいる鳥取県農林水産部水産振興局水産課の石原幸雄課長補佐にご依頼し、陸上養殖等の取組みについて講演を行いました。

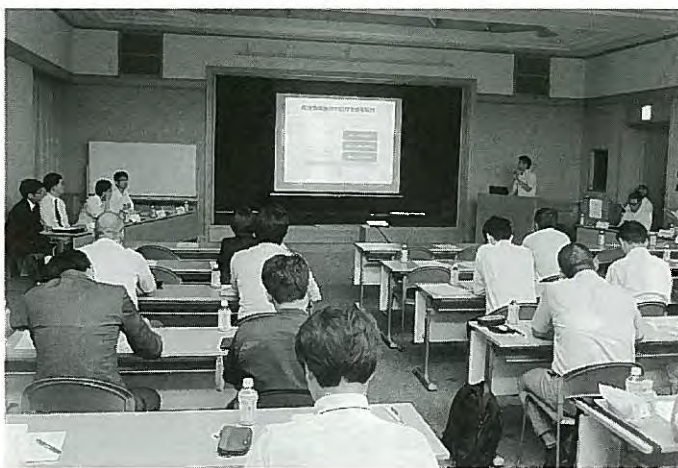
講義内容と講師は次の通りです。

- ① 漁港漁場分野におけるICT活用について
水産庁漁港漁場整備部整備課 性能規定係長 井上 真仁
- ② 兵庫県の漁場整備事業におけるICT活用事例（地理情報システムの活用）
兵庫県農政環境部農林水産局 水産課資源増殖室漁場整備班 主任 岡田 佑太
- ③ 鳥取県における陸上養殖等の取り組みについて

鳥取県農林水産部水産振興局 水産課 課長補佐 石原 幸雄

④ 妻鹿漁港における事業継続計画（BCP）の策定について
兵庫県農政環境部農林水産局 漁港課漁港整備班 主任 井上 敬太
オリエンタル・テクノ株式会社 海洋事業課 森山 陽司

（文：兵庫県漁港漁場協会）



未来の漁業技術を創るITベンチャー企業を招いて講演会 ～JF室津となぎさ信漁連が共催～



ライトハウスの講演

なぎさ信漁連は、5月28日（火）に、JF室津（中川照央組合長）にて、船曳漁業者向けに漁業ITベンチャー企業ライトハウスから、新藤CEOと営業担当の鈴木駿氏を招いて講演会を行いました。講演会当日は、なぎさ信漁連里常務による挨拶、ライトハウスによるサービス説明の後、漁業者の方々とライトハウスの間で活発な質疑応答・意見交換が行われました。



ライトハウスによる実機確認



里常務による挨拶

とで、たとえば、「船団の各船の魚探画像や状況を把握したい」「無線だけではうまく情報を伝えることができない」「操業日誌をもっと活用したい」といった課題を解決することが可能になります。今回の講演会では、参加した5経営体のうち、3経営体の方が興味をもたれ、お話し導入を申し込んでいただくこととなりました。参加された漁業者の方からは、「試しに使ってみない」というように使えるかのイメージができないので、お話し導入できるのは助かる」

「こういったことができる機器があるのは知っていたが、何百万円

円というお金がかかると思っていた」といった声が聞かれ、お話しする機会があることに関して前向きなご意見をいただきました。なぎさ信漁連では、お金を借りる、貯める、送るといったこれまでの金融機能の提供だけではなく、本年度より本格的に取り組む「漁家経営支援」の一環として、漁業者および漁業に携わる方々が抱える課題に対してさまざまな情報提供を行い、課題解決に一緒に取り組んでいきたいと考えています。

令和元年度兵庫県立農林水産技術総合センター 水産技術センター研究発表会

と き：令和元年7月19日（金）14：00～16：00

ところ：兵庫県立水産技術センター2階大研修室

兵庫県における水産試験研究の成果について、わかりやすく発表します。
多くの方々のご来場をお待ちしております（事前申込が必要です）。

14：00 開会

14：10 「したびらめ類」の資源調査を始めました！

長浜 達章（水産技術センター水産環境部 研究員）

14：35 水産養殖における閉鎖循環飼育の可能性

増田 恵一（水産技術センター水産増殖部 主席研究員）

15：00 休憩

15：15 神戸市漁協女性部が進める魚食普及

井上二三枝（神戸市漁協女性部 会長）

15：35 但馬の魚の脂肪含量

～季節変化と簡易測定方法～

川村 芳浩（北部農業技術センター 主席研究員）

16：00 閉会

〈申込み・お問合せ先〉

水産技術センター水産環境部

〒674-0093 明石市二見町南二見 22-2

Tel：078-941-8602 Fax：078-941-8604

※お車でのご来場の方は、当センター駐車場（約50台駐車可）をご利用ください。

参加費は
無料です♪



お知らせ

～JF兵庫漁連HP 会員／職員専用ページ統合について～

JF兵庫漁連ホームページ <http://www.hggyoren.jf-net.ne.jp/> のTOP画面上部にあります漁協系統の最新情報を会員の皆様にお知らせする「会員／職員専用ページ」の、パスワード入力フォームを統合しました。

パスワードにつきましては、これまで通りとなりますので何卒、宜しくお願いいたします。

お問い合わせは、JF兵庫漁連総務部 078-940-8011まで。

神戸海上保安部からのお知らせ

衝突事故多発

まさか船がいるとは思わなかった。

魚探の操作ばかりに気をとられてました。

お客さんとの話に夢中で・・・知ってる海域だから

相手船との距離は十分かと思いましたが、漁獲物の選別に没頭してました。

錨泊船だから見張りしなくてもいいものかと思いましたが、相手船が避けてくれるだろうと・・・

釣りに夢中で周りには見ていませんでした。携帯見ました。漁具の手入れをしてました・・・

他の事、考えてました。



あの時、見張りさえしていれば

写真は、イメージです

今年5月下旬から6月上旬の2週間の間に、神戸海上保安部管内において小型船同士の衝突が6隻発生しました。幸い大きな怪我人や死者を伴う大きな事故はありませんでしたが、言うまでもなく、ひとたび事故が発生すれば、財産の損害だけでなく、刑事・民事でもその責任を問われることとなります。

「あの時、見張りをしていれば」と後悔する前に、今一度、「船員の常務」として「見張りの徹底」を！



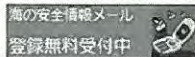
「自船の安全確保3か条」

- 1 発航前の点検
- 2 常時見張りの徹底
- 3 救助支援者の確保

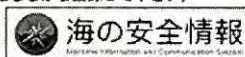


神戸海上保安部

海の安全情報メール配信サービス →
(空メールを送信して登録して下さい)



海の安全情報スマートフォン用サイト →
(こちらから登録して下さい)



農業機械レンタル事業で 地域の農業を守る

JA加古川南は、組合員宅を訪問して行った調査で多くの要望があった、「農業機械レンタル事業」を平成29年度から開始しました。

現在、離農や後継者不足が問題となっています。その要因の一つとして、農機導入や維持管理にかかる負担が大きいことが挙げられます。組合員の多くが水稻作付農家で、農機を購入しても費用負担の割にその使用頻度は少ないため、農機を持たず別の農家に作業を委託する農家もいます。この場合、作業を請け負った農家が離農すると、複数の農家の離農にもつながります。このような状況を受けてJAでは、農家の費用負担を少しでも減らして、所得を増大させることで地域の農業を守ろうと、農業機械レンタル事業を行っています。

この事業は、年間を通して利用可能です。料金はJA兵庫信連やJA共済連兵庫の助成金等を活用し、比較的安価に設定されており、機械のメンテナンスや修理等はJA側で行うため、農家の費用負担が大幅に軽減されます。貸し出す農機は、トラクターや田植え機、コンバイン、さらに乾燥施設などがあり、水稻栽培を行う上での一連の作業ができます。利用者からは「農機をレンタルできるから、農地を維持できる」と評価されています。

JAでは今後も、組合員農家の声に耳を傾けながら、地域の農業を守る取り組みを進めます。



左から田植え機、コンバイン、草刈り機3種

<http://ja-grp-hyogo.ja-hyoinf.jp/>

会員生協・団体が 多彩な支援活動

東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨など各地で災害が続く中、会員生協・団体が支援活動が継続して行われています。支援の一部ですがご紹介します。

生活協同組合コープこうべ

「西日本豪雨でのボランティア活動」

コープこうべ、ひょうごボランタリープラザとの協働でボランティアバスを運行し、被害の大きい真備町でボランティアを行いました。
8月10日(金)



【神戸医療生活協同組合】

「東日本被災地支援」



みやぎ県南医療生協の「わいわい山元まつり」でたこ焼き販売、現地の方たちと交流を行いました。

10月18日(木)～
10月21日(日)

11名参加

【生活クラブ生活協同組合都市生活】

「大人リフレッシュ ツアー」

福島の方を神戸へお招きする「大人リフレッシュツアー」も今回で4度目。

12月13日(木)～14日(金)



<http://www.coop-hyogo-union.or.jp/>



旬に想ひ

写真と文
遊方子



ベラ一族

◆スズキ目ベラ科の魚は概ね温暖性で本州中部以南やサンゴ礁に住んでいる。そして此の一族は実に派手な体色をしている。此れを美しいと見るか、毒々しいと感じるかは主観の違いで何とも言えない。ポピュラーな「キユウセン（求仙）」は、雌雄で余りに色が違うため別種の扱いを受けた時代もあった。雄は鮮やかな青緑色で真ん中を褐色の帯が走っており、雌は濃い赤色の縞で背鰭と口から尾へ黒い縦縞9本が走って、名前の由来になっている。求仙は夜は海底の砂に潜って眠り、日の出と共に起き出す。冬期には四月頃まで冬眠に入っており、その間は何も食わずに、蓄積していた皮下脂肪で命を繋いでいるのだそうだ。

◆ベラ一族には性転換するものが多く求仙もそうである。産卵期になると大型の雄（アオベラ）が縄張りを作り、複数の雌（アカベラ）に産卵させ放精を行う。しかし雌は卵を産みながらも雄に変身する機会を狙っている。雄が死んだり縄張りから失跡したりすると、素速く雄に性転換して産卵に加わる。だからアカベラには性転換途中で、アオベラに成り切らない女装した男性が混じっていて、正確な判断は生殖腺検査を経なければ判らないという。男装の麗人といえど宝塚歌劇のようで面白い。小さなアカベラのうち産卵して雄に受精させ、アオベラに変身しては数多くの子孫を残すのだという。進化の過程で実に効率の良い種族維持の法を編み出したようだ。少子化で騒ぐ人間たちはどう思う…。

◆昼行性の魚は夜の休息時に、夜行性のイカやタコ・ウツボ類に狙われる事が多い。ベラ類は日暮れと海底の砂に潜って休んだり、岩陰に身をひそめたりして捕食者から身を守る。ベラ類のうち「カンダイ」は別名コブダイと呼び、オスは眼上に大きなコブの膨らみがある。ベラの仲間では最も大きく、成長すると1メートル程になり、額のコブのゴ面相から醜男の感じを受ける。先年、親戚の釣り好きが林崎の防波堤で、体長30センチほどの幼魚を釣り上げた。珍しい面構えに驚かされ、スケッチして色付けした思い出がある。非常に印象深い魚だった。

◆魚の死因の大半は、自分より大きな捕食魚に食われる事で、あとは鱗や鰓孔（サイコウ）に寄生した甲殻類や蠕虫（ゼンチュウ）、バクテリアなどによるものだという。「ホンソメワケベラ」が掃除番と呼ばれるのは、こうした寄生虫を食べるためである。体長5センチほどの小さな魚ながら、大きな鮫やウツボを相手に丁寧に清掃作業をする。貪欲な魚も決して襲ったりせず、治療を受ける。千葉の水族館で、飼育魚クエの皮膚が荒れて注射や投薬をしたが効果が出ず、ホンソメワケベラを同水槽に入れたら見事に回復完治した。ベラ一族の名医でもある。

大輪田塾 第15期生 募集しています。

平成17年に開講された「大輪田塾」は、めまぐるしく変化する社会・経済情勢に対応し、将来にはJF組織を支えていける人材、つまり「浜のリーダー」育成を目的に始まったもので、多くの修了生が、JF組合長をはじめ役員などを務め、地域のリーダーとして活躍されています。

講義は、県・系統団体をはじめ多彩な講師陣による月1~2回の座学を中心に、外部研修や事務局が適当と認めた会議等も聴講できるといった幅広い知識の習得が可能なカリキュラムを組んでいます。

大輪田塾では、現在、今秋入塾される第15期生を募集しています。

皆様のご応募をお待ちしております。

◎応募資格

- ①原則として、漁業歴10年以上かつ45歳未満
- ②原則として、JF職員歴10年以上かつ45歳未満

のいずれかに該当する者で、所属する組織代表者の推薦を受けた者

◎在籍年限

原則2年（最長3年）

募集は8月末まで。その後、面接を行い、運営委員会の選考を経て、10月（予定）に入塾式を行います。（詳しい募集要領は各JF・団体宛に通知させていただきます。）

問合せ先（事務局）（一財）兵庫県水産振興基金

〒673-0883 明石市中崎1丁目2-3 TEL 078-919-1331